

細菌学者の野口英世が考案した

抗ピロリ菌剤 「パプラール」

PAPRALは「万病に効く」効能を目指し1936年に開発されました。

野口博士は今から83年前に、「万病の元は胃腸にある」と辿り着きました。

当時はまだ未発見だったピロリ菌ですが、「胃腸を元気にするはたらき」を目指した結果、優れた抗ピロリ菌作用を持つ効果に繋がりました。

現在では幅広くご利用頂きやすい清涼飲料水として提供しています。



左:野口英世博士

右:石塚三郎 初代東洋厚生製薬所所長

胃腸を支える3つの理由

- ① 胃腸障害の原因菌、
ピロリ菌を安全
に抗菌します



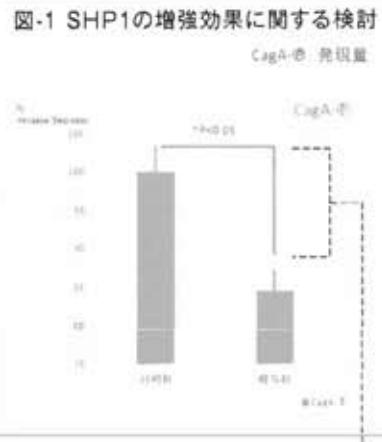
3.1×10⁶/ml



5.4×10⁴/ml

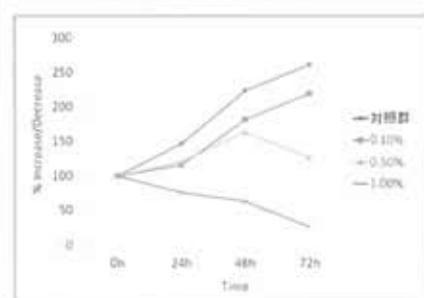
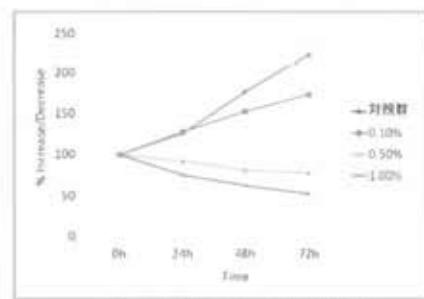
驚きの即効性!
たった5分間でピロリ菌を
約1/100に減少させました!

- ② 効果の決め手は
SHP1!
ピロリ菌の働きを抑制



ガン化の原因を
20%抑制!

- ③ 様々なガン細胞を
縮小! 予防も予後も
安心です!



胃ガン・十二指腸ガンの
発現リスクを20%抑制!
ガン細胞の発生・成長・転移を
未然に防止!
副作用のない
抗ガン作用